

沖縄県知事の「(ウクライナ大統領の)ゼレンスキーです」発言に対する抗議決議

今年2月24日、ロシアが特別軍事作戦の名のもと、ウクライナへ軍事侵攻を開始した。病院、学校、住宅などに被害を与え、国連機関が把握している民間人の死者は約4千人に達している。

G7の会合では、国際社会が結束・連携して強力な制裁とウクライナ支援を継続していくことを確認するとともに、力による一方的な現状変更は世界のいかなる地域でも認められないという認識で一致した。

ロシアによるウクライナ侵攻から既に4か月余が経過した。国連難民高等弁務官事務所によると、隣国ポーランドをはじめ国外に避難しているウクライナ人は750万人を超える。国内でも既に千人を超える避難民を受け入れ、うるま市でも現在3人を受け入れている。

そのような中、5月25日、知事は米軍基地問題に関する有識者会議に出席した際、席に着くなり、「ゼレンスキーです。よろしくお願ひします。」と、ウクライナ大統領の名前を持ち出して話を切り出した。その場で「冗談です」と打ち消したものの、発言はネットを通して拡散し、全国のテレビ番組でも放映された。

5月30日、知事はウクライナ駐日大使に電話で「軽率のそしりを免れない」と謝罪したことを明らかにしたが、平和な日常がずたずたに引き裂かれ、今なお戦闘終結の見通しが立たないウクライナが置かれている厳しい現状を考えれば、県民を代表する知事としての節度を越えた、失言であり看過できない。

よってうるま市議会はこうした知事の発言に対し厳しく抗議する。

以上、決議する。

令和4年6月28日

沖縄県うるま市議会

あて先

沖縄県知事